

第 33 回台日工程技術研 討会 ・ 講師履 歴書

	お 名 前	上原 正
	ロ - マ 字 表 記	UEHARA TADASHI
	最 終 学 歴	国立信州大学 工学部 土木工学科卒業(1983年3月卒)
	専 門 分 野	鋼道路橋(設計、製作、架設)
ご 勤 務 先 ・ 職 位	宮地エンジニアリング株式会社 ・ 取締役 技術本部長	
主 要 職 歴	1983年～1993年 鋼道路橋の詳細設計・架設計画業務(設計9年、架設計画2年) 1994年～1996年 3径間2ヒンジ補剛トラス吊橋(明石海峡大橋)補剛桁の架設計画業務(現場常駐) 1998年～2003年 長支間場所打ちPC床版を有する鋼少数2主桁橋(蘆科川橋)の架設計画業務と現場工事(役職:現場代理人)業務 2007年～2008年 単径間吊橋(豊島大橋)補剛桁の現場架設業務(役職:監理技術者) 2011年～ 技術本部(詳細設計、設計照査、技術開発)の管理業務(役職:技術本部長)	
主 要 論 文 ・ 著 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明石海峡大橋補剛桁の架設 ・ 第二東名高速道路 蘆科川橋における鋼桁および長支間場所打ちPC床版の施工 ・ 合成床版を横桁で支持する2主桁橋の送り出し架設(第二東名高速道路須津川橋) ・ 直下吊りによる単径間吊橋の架設(豊島大橋) , 	
講 演 テ - マ	日本における長大橋の鋼上部工(吊橋、トラス)架設の概要	
講 演 概 要	台湾同様、島国で地震や台風といった自然の猛威にさらされる日本において建設された鋼橋の内、弊社で実際に施工した世界最大の支間長を誇る明石海峡大橋補剛桁の架設の概要について説明するとともに、あわせて特殊な構造を有する東京ゲートブリッジ上部工(鋼3径間連続トラスボックス複合構造)の特徴と架設概要について図表、写真および動画を使用して解説する。	